

岡本小学校だより



八千代



令和3年度 第4号
令和3年9月13日発行
発行責任者 半田文男

学校再開 子どもたちの元気な声に戻ってきました！

8月26日（木）から学校が再開されて、静かだった学校に元気いっぱいの子どもたちの姿があふれ、子どもたちの声が響いています。

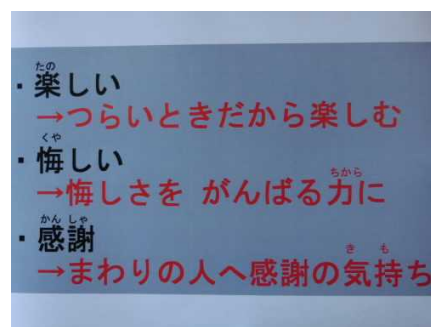
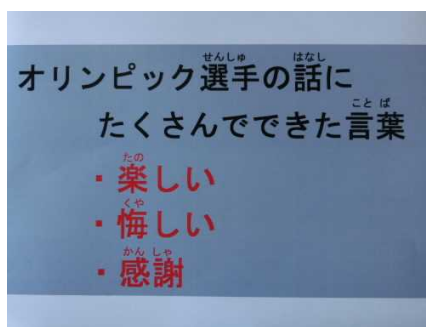
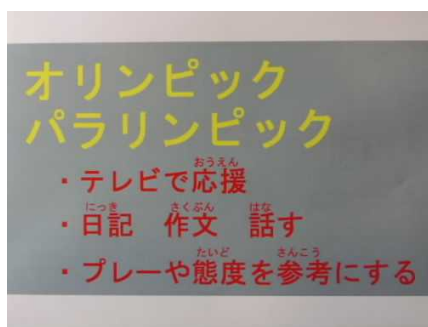
学校再開にあたっては、栃木県の緊急事態宣言に伴う下校時刻の変更があり、大変ご迷惑をおかけしました。突然のご連絡にもかかわらず、ご対応いただきまことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校生活におきましては、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、子どもたちの学習活動を継続して行っています。ご家庭におきましても、更なる感染症対策にご協力くださいますようお願いいたします。

〈東京オリンピック開催 オリンピアンから学ぶ〉

コロナ禍で開催された東京オリンピック。子どもたちには、東京オリンピックに出場した選手の姿から、何かを感じてほしいと思いました。夏休み前の朝会では、子どもたちに、「選手たちの活躍を見て、感じたことを日記などに書いたり、家族と話したりすることや、スポーツをしている人は、選手の良いところを参考にすること」を勧めました。

夏休み明けの朝会では、以下のようなスライドを使って、私自身が感じたことを伝えました。



◇オリンピックの中継をテレビで観戦して感じたことです。メダルをとった選手や残念ながら試合に負けた選手のインタビューには、「楽しい・悔しい・感謝」という言葉がたくさん出てきました。選手が話すそれぞれの言葉は、大切なことを教えてくれているように感じました。

◇「楽しい」という言葉からは、辛いことや苦手なこと、緊張することなどに立ち向かう心構えとして、「楽しむ」という気持ちの切り替えが大切だと感じました。

◇「悔しい」という言葉からは、思い通りにならないことを受け止める潔さと、更にそれに負けずに次の目標を目指すたくましさが必要だと感じました。

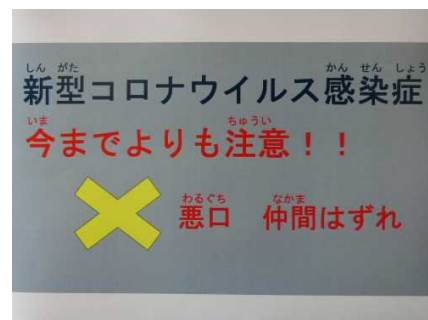
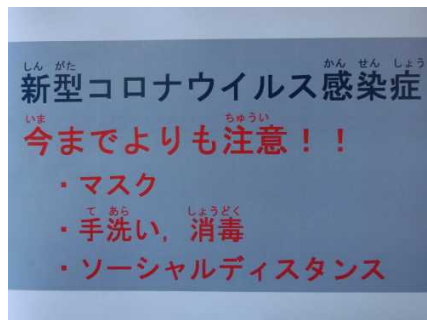
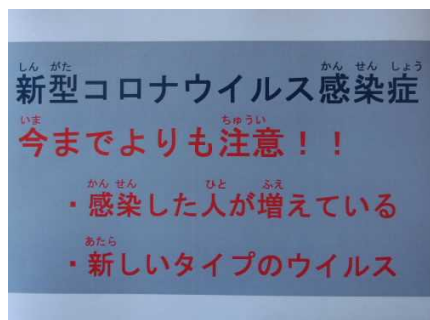
◇「感謝」という言葉からは、文字どおり、どんなことでも、自分ひとりの力ではなく、ほかの誰かの応援や協力があることを理解して、そのことに感謝する気持ちが大切だと感じました。

【新型コロナウイルス感染症対策】

栃木県において、8月20日に発表された緊急事態宣言も、9月30日まで延長され、引き続き注意と対策が求められています。

学校においては、授業時間を確保するため、9月13日から5時間の時は13時50分下校、6時間の時は14時40分下校の特別日課に変更するとともに、子どもたちが長時間、近距離で行う演奏、実験、鑑賞などの感染リスクが高いと考えられる活動を中止することで、感染防止に取り組みながら、学習活動を継続させています。

子どもたちにも、学校再開時の朝会で、以下のような話をして、注意喚起を行いました。



◇栃木県や宇都宮市では、新型コロナウイルス感染症に感染してしまった人がとても多くなっています。

それは、今までと違って、より感染する力が大きい新しいタイプのウイルスが現れたからです。

◇しかし、必要以上に怖がることはありません。まずは、今までやってきた「マスク、手洗いや消毒、ソーシャルディスタンス」を今まで以上にしっかりやっていくことが大切です。そのほか、これからの学校生活で、新しいタイプのウイルスの感染予防のために、できなくなってしまう活動もあるかもしれませんが、少しの間我慢してください。

◇そして、しっかり予防していても、感染する人が出てきてしまうこともあります。そのときは、その人の悪口を言ったり、その人を仲間外れにしたりすることなく、みんなで仲良く過ごしてほしいと思います。

【感染症対策いろいろ】



◇校庭での歌の指導



◇机を話してグループ活動



◇端末を使った友達の作品鑑賞



◇教室の消毒



◇窓枠の消毒



◇図書の消毒